

11月のデータ

12月1日現在（ ）内は前月比

●人のうごき

人口 110,395 人 (-67)
男性 51,277 人
女性 59,118 人
出生 55 人
死亡 131 人
転入など 189 人
転出など 180 人
世帯数 56,021 世帯 (-18)

●火災など

火災 1 件 / 救急 496 件 /
交通事故 36 件

1月の納税期限 1月31日(月)

- ・市県民税 4 期分
- ・国民健康保険税 7 期分
- ・後期高齢者医療保険料 7 期分

ごみ・リサイクルなど

1 月 10 日(祝)のごみ収集、資源物
回収およびし尿収集は実施します。

人が育ち、人のにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



目次 contents

2022.1.1

No.1283

- 3 未来を担う“おおむたっ子”天領小学校
- 4 新年のあいさつ／大牟田市 10 大ニュース
- 6 「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞を受賞
- 7 映画「向田理髪店」のロケが行われました
- 8 まちかどレポート
- 10 新型コロナ／災害関連
- 11 市からのお知らせ (01 ～ 06)
令和3年度子育て世帯への臨時特別給付の案内 ほか
- 14 すこやか健康
キレイと健康を手に入れよう！腸活講座 ほか
- 15 おおむたまちなか新聞
- 16 暮らしの情報
- 20 おでかけガイド
おおむたまち歩きツアー ほか
- 22 子育てひろば
- 24 教育委員会だより
- 26 動物園へ行こう！／市民のひろば
- 27 おおむた PR 隊部員の取材日誌／食改善おすすめ簡単レシピ
- 28 1 月後半の無料相談
- 29 休日当番医・平日時間外小児急患診療当番医
- 30 輝き人／2022 年もアフガニスタンとジョージアを応援

d ボタン広報誌

- ①テレビでKBC (1ch) を視聴
- ②テレビのリモコンの「dボタン」を押す
- ③「dボタン広報誌」を選び、「決定ボタン」を押す

※お使いのリモコンにより、位置は異なります。

今回の『広報おおむた』は
2月1日号

2月1日～3日にお届けします

大牟田市

住所 大牟田市有明町 2 丁目 3 番地
電話 0944-41-2222 (代表)
FAX 0944-41-2552 (代表)
ホームページ <https://www.city.omuta.lg.jp>
開庁日時 平日 8:30 ～ 17:15 (土日・祝日休み)
※紙面では、市外局番 (0944) を省略しています。

広報紙の配布に関する問い合わせは、
シルバー人材センター (☎53-2319) へ

今号の表紙



福祉体験作文で内閣総理大臣表彰を受けた手鎌小 2 年生の久保なのはさんが、12 月 8 日に市役所を訪れ、関市長へ受賞報告しました。久保さんは手話で自己紹介した後、表彰された作文を朗読しました。6 ページに作文を紹介しています。



第46回 未来を担う“おおむたっ子”

海洋教育とオリ・パラ教育を通して ESD を推進しています

天領小学校

天領小学校では、海洋教育とオリンピック・パラリンピック教育（以下、オリ・パラ教育）を中心にESDを推進しています。

海洋教育では、体験活動を通して自分で課題を設定し、その解決に向けて学習を進めていきます。まずはパソコンや本で調べたり、現地調査を行ったりしますが、時にはゲストティーチャーからアドバイスをもらうこともあります。以前から海洋教育で繋がっている東京大学や九州・沖縄地域の学校とは、コロナ禍でもZoomを使った交流を続けています。

オリ・パラ教育では、大牟田市が東京2020大会でホストタウンを務めたジョージアの国歌を歌った動画に応援メッセージを添え、選手に送るなどしました。11月に在日ジョージア臨時代理大使が来校されたときには、ジョージア国歌を歌ってお迎えし、ジョージアについて学んできたことやオリ・パラに関するさまざまな取り組みを紹介しました。また、東京パラリンピック大会の車いすラグビーで銅メダルを獲得した乗松聖矢選手との交流会では、周りの人への感謝の気持ちを改めて見直し、今後の生き方について考えるきっかけにもなりました。

このような取り組みを通して、ふるさとの海や川をより良い形で残すために何ができるかを自分で考え行動できる子、そして、人との出会いから自己の生き方を考えられる子の育成に力を入れています。



児童数 472 人
(令和3年12月1日現在)

平成22年、川尻小と諏訪小の統合により開校。校区内の宅地整備が進んでいることから、市内で児童数が一番多い学校です。



カヌー体験を楽しみながら、川の水の濁りなどの課題を自ら見つけ、その解決策を自分たちで考えています

ようこそ！文化財の裏側へ Vol.9

「整理作業」その1 出土した遺物の水洗い



発掘した遺物（土器など）をブラシを使って水洗いしている様子

これまで紹介してきた発掘調査において出土した遺物（土器など）は、付着している土を落とし、破片同士を接合して図面化する「整理作業」を行います。

まず、発掘した遺物は土がついて汚れているので、ブラシを使って丁寧に水洗いします。ゴシゴシ洗うと土器によっては文様が消えたり、溶けてしまったりするため、力加減に注意しながら、ブラシをトントンと当てるように洗っていきます。